大田原市
なす風土記だより
第7号
発行 大田原市なす風土記の丘湯津上資料館／大田原市歴史民俗資料館
令和8年3月31日

館長あいさつ

令和7年度は戦後80年の節目の年ということもあり、改めて歴史を振り返ることが多い一年でした。当館周辺でも、2023年から5年かけて行われてきた上侍塚古墳・下侍塚古墳の発掘調査が最終年を迎えたり、全国から古墳愛好家が集うバスツアーを迎え入れたりと、地域の歴史が大いに注目された一年だったように思います。

また、今年度は、歴史民俗資料館の移転に向けた作業も大きな業務の一つでした。そうした動きとあわせ、展示会や講座、発掘調査等、当館の一年間をまとめましたので、ぜひご一読ください。（大森忠夫）

歴史民俗資料館　収蔵資料のお引っ越し



令和５年度から展示室を休止し、展示・収蔵資料の整理をしていた歴史民俗資料館ですが、今年は資料を移動しました。基本的には人海戦術で、約２週間かけて行いました。様々な形状や素材、大きいものや重量のあるものも多い民俗資料ですが、資料館以外の職員にも協力してもらい、無事に移動できました。しかし、人力では対応できない資料もあり、それは業者さんにお願いしました。クレーンを使用し、慎重に運び出されます。資料も人も安全第一、業者さんはとても気を遣われたと思います。ありがとうございました。

運び出された資料は、旧佐良土小学校で保管しており、見学をご希望の方は、ご案内いたします。現在のように、電気や機械などが十分に普及していなかった頃、普段のくらしの中で普通に使われていた民俗資料には、ふるさとの先人たちの知恵と工夫がつまっています。資料をみて、ふれて、そして使ってみることで、先人たちの知恵を学び、その背景にあるくらしを考える機会になれば幸いです。職員は常駐していませんので、見学をご希望の際は、事前に電話連絡をお願いいたします。（宮澤友美）

今年はこんなことがありました

なす風土記の丘資料館では…

当館では、令和７年４月の定期人事異動にて、８年振りに学芸員の交代がありました。後任は初めての資料館勤務でしたが、皆様の温かいご支援のもと、何とか1年を過ごしてまいりました。この場をお借りしまして、心より御礼申し上げます。

今年度の当館は、目に見えづらい部分が大きく変化したように思います。収蔵庫整理や、それに伴う常設展示への多くの資料の追加、所蔵するフィルム資料のデジタル化や作業部屋の整備。これからぐんと作業効率が上がるのかな、と期待するところです。また、ワンケース展示のような小規模展示もいくつか行いました。企画展のような特別な展示がない時でも「雰囲気変わったな」「こんな資料あったかな」そう思っていただき、飽きの来ない資料館を目指したいものです。

（長谷川陽）

歴史民俗資料館では…

引き続き、展示室休止中の当館ですが、今年度はいよいよ展示・収蔵資料を移動しました。資料が運び出された展示室や収蔵庫は思いの外広く、少し寂しく感じられます。しかし、昨年同様、資料の寄贈申請もあり、多くの情報をいただきました。コンニャク栽培に関る資料と、かつて大田原市内にあった鍛冶屋さんが使用していた道具一式という、地域の特性や歴史を物語る貴重な資料に出会えました。運び出された歴史民俗資料館の資料と共に、旧佐良土小学校で保管していますので、事前に電話連絡のうえ、ぜひお越しください。

また、地域回想法でも、民俗資料を手に楽しそうに話す高齢者の方から多くのことを教えていただきました。地域の皆様あってこその資料館だと、改めて感じた１年でした。（宮澤友美）

大田原市なす風土記の丘湯津上資料館

国指定史跡・侍塚古墳、国宝・那須国造碑を中心に、日本で初めての発掘調査と、大田原市内で発見された資料を展示している考古資料館です。

〒324-0403 栃木県大田原市湯津上192
TEL 0287(98)3322　FAX 0287(98)3323
E-mail fudokiyuzukami@city.ohtawara.tochigi.jp
URL http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/docs/2013082772084/

大田原市歴史民俗資料館

昭和30年代、湯津上地区で実際に使用されていた農具や民具を中心とした、大田原市内の民俗芸能を扱う民俗資料館です。

〒324-0403 栃木県大田原市湯津上194
TEL 0287(98)2151
URL http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/docs/2013082772237/